

Advanced DV Converter

ADVC-700

ユーザースマニュアル

canopus

ご使用の前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノープス株式会社
〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2
テクニカルサポート
TEL. 078-992-6830
(10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00)
※土、日、祝日および当社指定休日を除く



警告



●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用いたしません。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。



●電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。

AC アダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



●キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。



●ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因になります。



●内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因になります。

万一、水や異物が入った場合は本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



●国外では使用しない

本製品は、日本国内での使用を前提として設計されています。

海外では電源電圧が異なりますので、付属の AC アダプタでは使用できません。使用すると、火災や感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら使用しない

本体やプラグには触れないでください。感電の原因になります。



●ぬれた手で AC アダプタを触らない

ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



●直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。



●煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因になります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



●製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因になります。

製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



注意



●他社製品と併用されるときは注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。けがをしたり、製品の故障の原因となります。



●お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。

感電や製品の故障の原因となります。

お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。



●指定外の AC アダプタを使わない

付属の AC アダプタ以外の製品を使わないでください。火災や製品の故障の原因となります。



●コード類は正しく配置する

電源コードや AV ケーブルは整理して配置してください。足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。



●本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布で覆った状態で使用しないでください。

通気孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。



●長期間使わないときは AC アダプタを外す

使用しないときは、安全のため AC アダプタをコンセントから外してください。



●AC アダプタに関する注意事項

製品に付属している AC アダプタおよび電源ケーブルは、本製品の専用品となっています。

別の AC アダプタを使用したり、組み合わせを変更して使用しないでください。

■個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

1. ご利用の当社製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
*調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送

*お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせは <http://www.canopus.co.jp/info/> までご連絡ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが一、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/ カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) ADVC はカノープス株式会社の登録商標です。
- (9) Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの登録商標です。Macintosh® は米国 Apple Computer, inc. の登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の登録商標です。



表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書では Microsoft® Windows® 2000 Operating system を Windows 2000 と表記します。



警告

■健康上のご注意

ごくまれに、モニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像 / 音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

ADVC-700

ユーザーズマニュアル

February 9, 2006

Copyright © 2006 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

目 次

第1章 – 確 認

1	はじめに	2
1-1.	パッケージ内容の確認	2
1-2.	製品のお問い合わせ窓口について	3
1-3.	当社ホームページについて	4
1-4.	オンラインユーザー登録について	4
1-5.	制限事項について	4
2	ADVC-700 の特長	6

第2章 – 基本説明

1	各部の名称と機能	10
1-1.	ADVC-700 フロントパネル	10
1-2.	ADVC-700 リアパネル	12
1-3.	ディップスイッチ設定	14
1-4.	液晶画面表示	15
2	接続	20
2-1.	ADVC-700 を接続する	20
2-2.	アナログデータを PC に取り込む	22
2-3.	PC で編集したものを VTR に録画する	23
3	操作	24
3-1.	メニュー画面操作	24
3-2.	設定グループ	26

第3章 – 付 録

1	仕様	48
---	----------	----

Advanced DV Converter
ADVC-700

第 1 章

確 認

この章では、ADVC-700のセットアップを行なう前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

- ・ はじめに
- ・ ADVC-700の特長

1 はじめに

1-1. パッケージ内容の確認

ADVC-700 のパッケージの中に p.2 および p.3 記載の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期していますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノープスカスタマーサポート

電話：078-992-5846

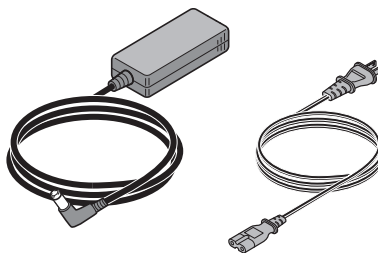
(※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

■ ADVC-700 同梱物

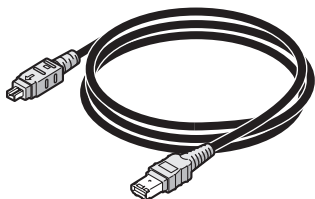
☐ ADVC-700 (1台)



☐ AC アダプタ & ケーブル (各1本)



☐ DV ケーブル [6pin-4pin] (1本)



☐ ラックマウント用金具 (2個)

☐ 取り付けねじ (4本)

□マニュアル

- ・ADVC-700 ユーザーズマニュアル（本書）
- ・Support Service Manual

□ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください。ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます（当社提供のサービスについては、Support Service Manual をご覧ください）。ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離してポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ（<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>）をご覧ください。

1-2. 製品のお問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

テクニカルサポート窓口 TEL. 078-992-6830

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

カノープス株式会社 テクニカルサポート宛

10:00～12:00 / 13:00～17:00（土日祝日、当社指定休日は除く）

※製品の使用方法など技術的相談に関するご質問承り窓口です。

テクニカルメールサポート <http://www.canopus.co.jp/mail/>

カスタマーサポート窓口 TEL. 078-992-5846

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

カノープス株式会社 カスタマーサポート宛

10:00～12:00 / 13:00～17:00（土日祝日、当社指定休日は除く）

※ユーザー登録のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。

カスタマーメールサポート <http://www.canopus.co.jp/info/>

サポート&サービス [FAQ] ページ

<http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm>

1-3. 当社ホームページについて

ADVC-700をはじめとする当社最新情報をホームページ (<http://www.canopus.co.jp>) にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

1-4. オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただかなくとも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。オンラインユーザー登録ページ (<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>) にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

1-5. 制限事項について

ADVC-700 をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。

■非標準信号について

ゲーム専用機が出力する信号のコンバートは可能ですが、ソフトウェアのタイトルによっては同期がとれない可能性があります。

※ゲーム機などの標準信号からずれた映像を、オーディオノイズなしに取り込みたい場合には、「108 DVout frame sync」を有効にすることで可能です。この場合ビデオ信号はフレームスキップ・ホールドが発生します。

■ ADVC-700 の接続について

PC と併用する場合、ADVC-700 を接続しているケーブルの脱着は、必ず PC 本体の電源をオフにした状態で行ってください。

■ Windows 2000 環境で IEEE1394 インターフェース (OHCI) と接続する場合の制限事項

NTSC 設定の場合、OHCI ドライバの出力する DV フレームレートが標準のフレームレートより極端に遅いため、その DV 出力をアナログ信号に変換する際にフレームホールドやタイムコードの異常が定期的に発生します。ADVC-700 から OHCI に入力する方向は問題ありません。

■ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に表示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

2 ADVC-700 の特長

■画質の追求

アナログ /DV 変換部分の核となる DV Codec チップは、画質の点で高い評価を受けているカノーブスオリジナルアルゴリズム仕様の DV Codec を搭載しているため、高画質での変換が可能です。

■映像と音がずれない「Locked Audio」

本製品は音声を映像の速度に合わせて正確にデジタル化する Locked Audio を採用しました。映像と音声データをシンクロさせることにより、アナログ入力で音声がずれることはありません。映画などの長時間のコンテンツをコンバートする場合も安心です。

※ Locked Audio 機能はアナログから DV に変換する場合のみ有効です。DV-DV の接続時には機能しません。

■特許出願中のパーフェクトシンク技術

DV →アナログ変換時に、特許出願中のパーフェクトシンク技術を使用することで、スキップ・ホールドのない REF 入力信号に完全に同期した DV →アナログ変換が可能となりました。

■あらゆるスタジオユースに対応したプロフェッショナル仕様

AV/C → RS422 変換による VTR コントロールやリファレンス入力・TC 入出力も完備しており、あらゆるスタジオシステムにも問題なく導入可能な設計です。

■ EIA 規格準拠 19 インチラックマウント対応

汎用フォーマットである IEEE1394 インターフェース採用の独立ユニットですので PC 側に専用のハードウェアを必要とせずに簡単に接続することができます。

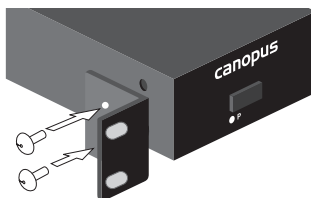
また、EIA 規格に準拠した 19 インチタイプのため、ディレクターズラックへ VTR と同時マウントすることができ、効率的な収納が可能です。



ヒント

「ラックマウントに取り付ける場合は…」

- ①ADVC-700をラックマウントに取り付ける場合はADVC-700底面のゴム足4つをプラスドライバーで取り外します。
- ②ラックマウント用金具を同梱のネジを使用して取り付けてください。



■使いやすい設定切替機能

フロント面に配置されたセレクトダイヤルとボタンを使用して、LCD 表示を見ながら各種設定の変更をスムーズに行うことができます。またユニットの電源を切る直前の設定状態を記憶しており、次の電源投入時には前回電源を切ったときと同じ状態になります。

■ユーザー設定の保存 / 復元が可能

3 設定までカスタマイズされた設定を保存 / 復元が可能です。さまざまなシチュエーションで毎回すべての項目を切り替える必要のあった手間を省けます。

■ PC を選ばない高い汎用性

DV フォーマットを採用しているため、Windows や Macintosh といった PC の制約を受けることはありません。ユーザーは、現在使用されている環境を変更することなく IEEE1394 インターフェースに接続するだけで、簡単にコンポーネントビデオ、コンボジットビデオ、S-ビデオや、オーディオ XLR、オーディオ RCA 入出力機能を手に入れることができます。

■ NTSC/PAL 両対応

日本やアメリカで使われる NTSC だけでなく、ヨーロッパ等でも使われる PAL にも対応。SECAM の入力にも対応しています。

※ NTSC - PAL (SECAM) の変換は行えません。

※これらはフロントパネルから切替が可能でラックマウントした場合にも、速やかに設定変更を行います。

Advanced DV Converter
ADVC-700

第 2 章

基本説明

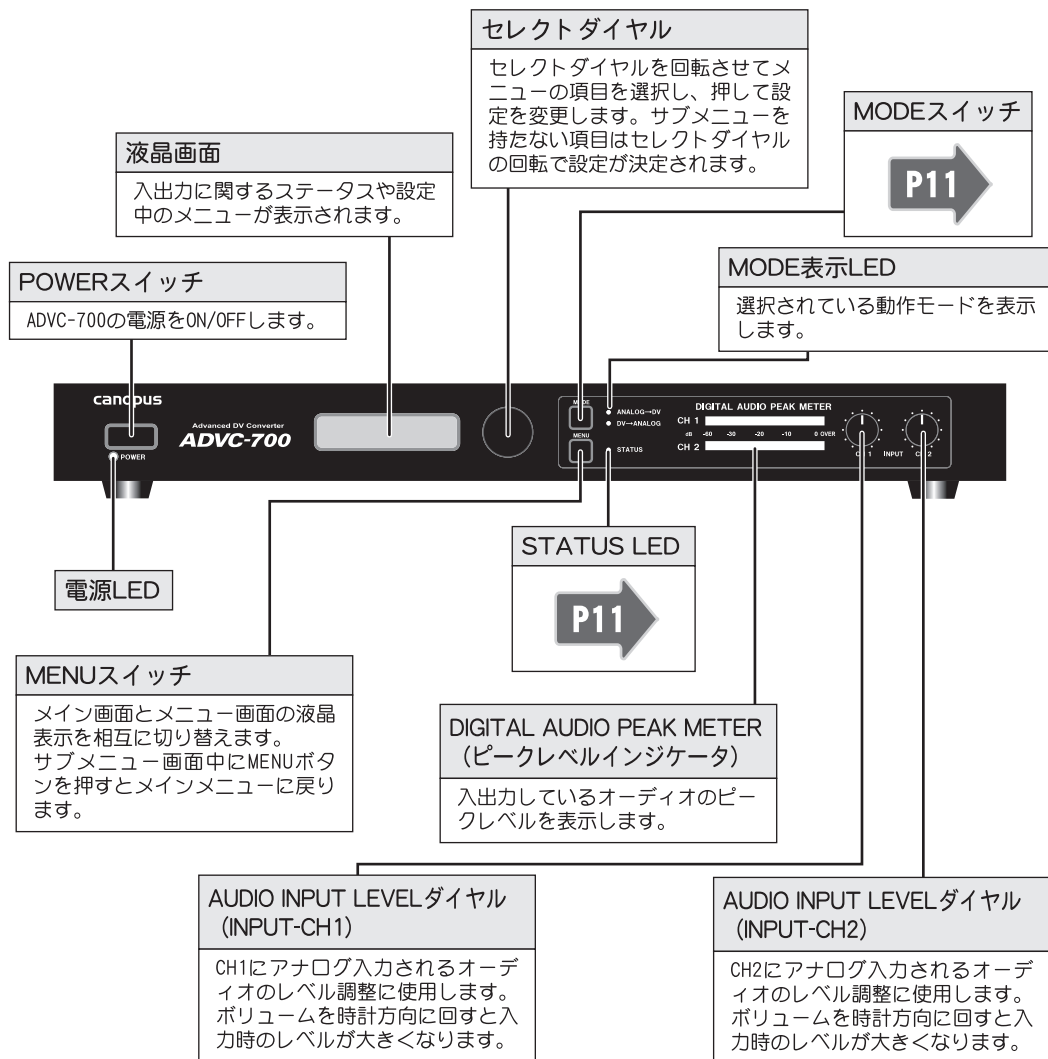
この章では、ADVC-700の各部の機能などを説明します。

- ・ 各部の名称と機能
- ・ 接続
- ・ 操作
- ・ 仕様

1 各部の名称と機能

1-1. ADVC-700 フロントパネル

ADVC-700 のフロントパネルには以下のようなコントローラおよびインジケータ類があります。



※オーディオレベルはダイヤルを回したときに、クリックされる位置が標準レベルです。

・MODE スイッチ



ADVC-700 の動作モードを切り替えます。スイッチを押すたびに動作モードが切り替わります。『ANALOG → DV』LED を点灯させると、入力したアナログ信号を DV に変換（DV エンコード）することができます。『DV → ANALOG』LED を点灯させると、入力した DV 信号をアナログ信号に変換（DV デコード）して出力することができます。

・STATUS LED



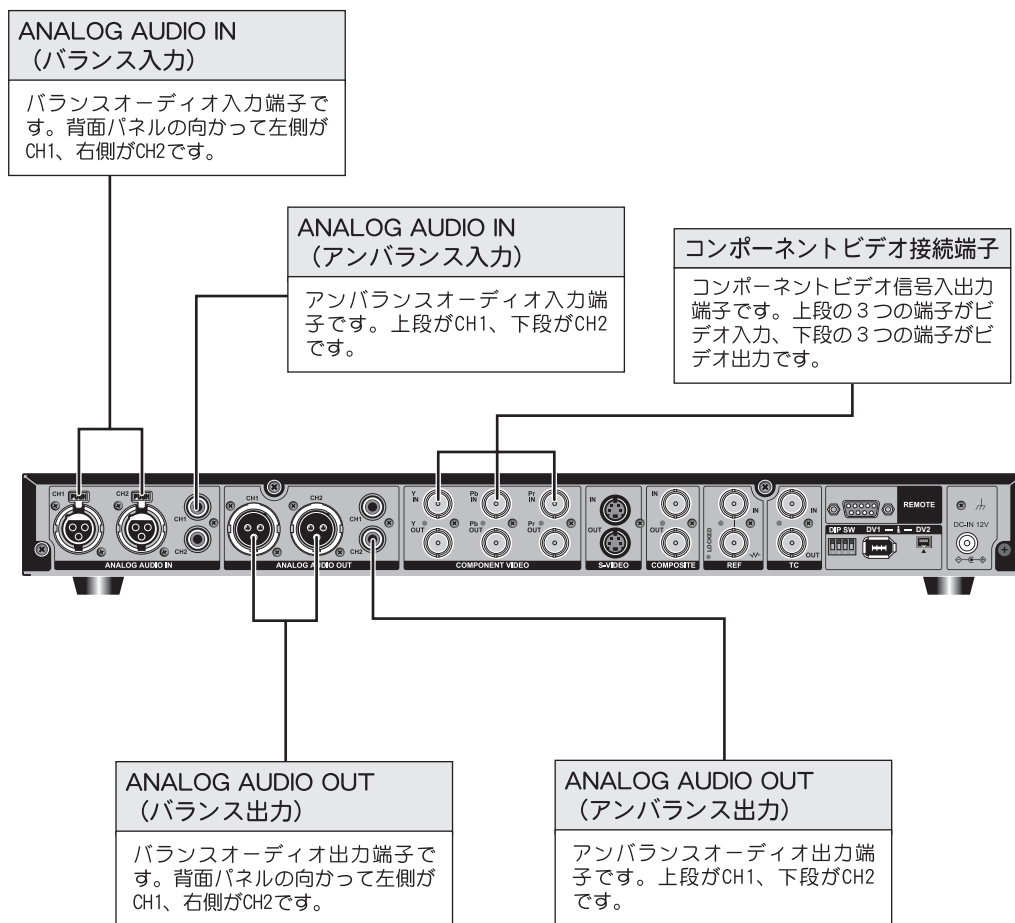
STATUS LED の表示は下表の状況を意味しています。

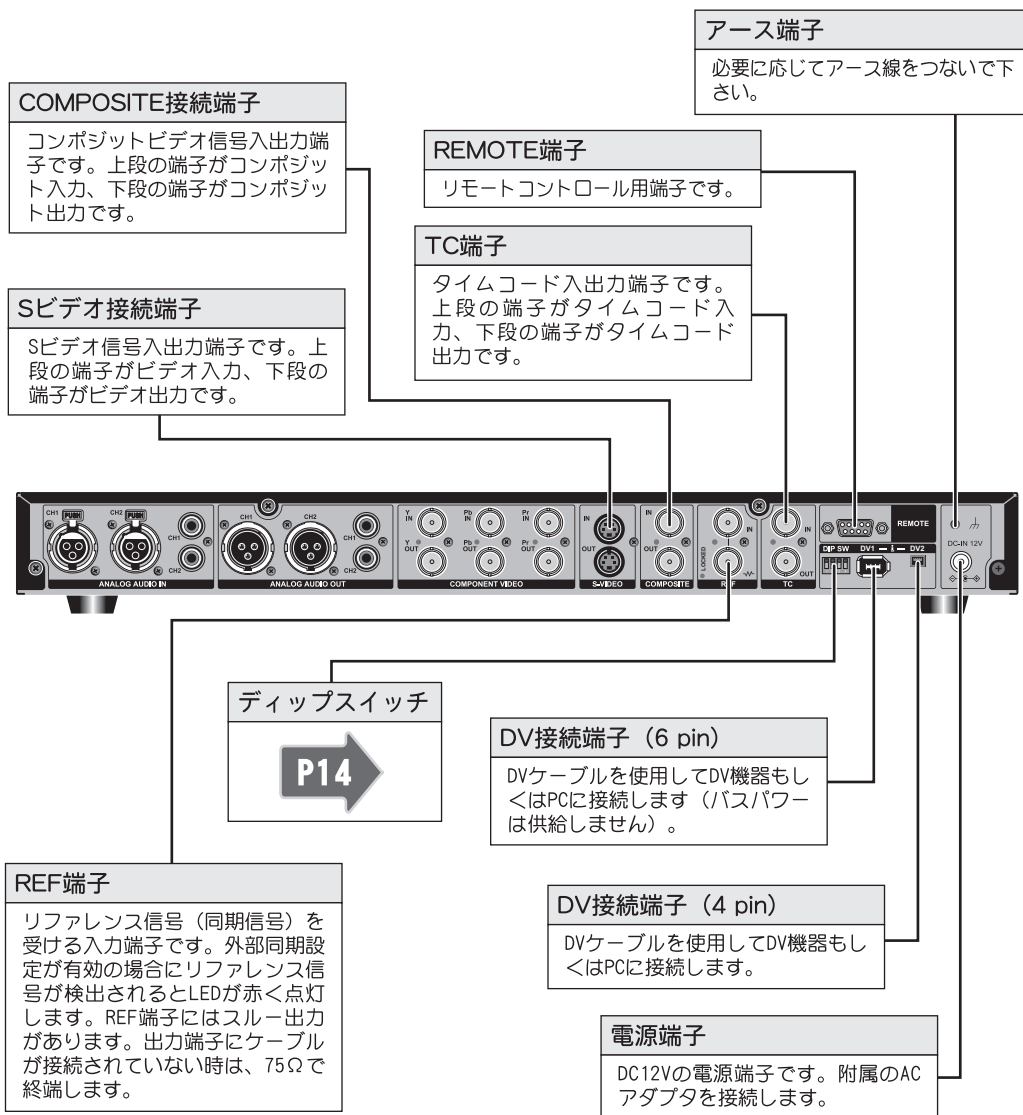
- ・ 消灯 9 ピンリモート制御が無効です。
- ・ 緑色点灯 9 ピンリモート制御が有効です。
- ・ 赤色点灯 9 ピンリモート制御を有効に設定しましたが、通信エラーのためリモート制御できません。9 ピンリモートケーブルの接続が正しいこと、接続対象機器の電源が投入されていること、対象機器のリモート制御設定が有効であること等を確認してください。
- ・ 赤色点滅 ADVC-700 の動作上、問題が発生しています。または動作に必要な信号のいくつかが検出できません。エラーステータス画面を確認し、必要な信号を正しく入力するか、あるいは ADVC-700 の設定を変更してください。

※エラー状態を確認するには P. 19 「**■エラーステータス画面**」を参照してください。

1-2. ADVC-700 リアパネル

ADVC-700 のリアパネルには以下のような接続端子があります。



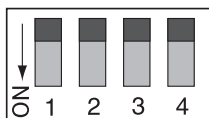


注意

- ・当社DV編集システム製品ではHUB接続できません。
- ・OHCI製品をご使用の場合でアプリケーションが複数のDV機器を管理できる場合のみHUB機能での使用が可能となります。

1-3. ディップスイッチ設定

ADVC-700 のリアパネルには以下のようなディップスイッチがあります。ディップスイッチは出荷時にはすべて OFF に設定されています。



No.	MODE	OFF	ON
1	PHY SPEED	S400	S200
2	Update Mode	Normal	Update
3	Video Format	NTSC	PAL
4	PAL/SECAM (SW3がONの場合)	PAL	SECAM
	NTSC Setup Level (SW3がOFFの場合)	0 IRE	7.5 IRE

SW1 - PHY SPEED

PHY SPEED を設定します。

OFF : S400 ON : S200

SW2- Update Mode

内部ソフトウェア更新時に使用します。(通常は OFF でお使いください)。

OFF : Normal ON : Update

SW3 - Video Format

ビデオ信号形式を設定します。

※ 「107 video standard」 の設定が、「set by DIP swicth」 の時に有効です。

OFF : NTSC ON : PAL

SW4 - PAL/SECAM (SW3 が ON の場合)

※ 「107 video standard」 の設定が、「set by DIP swicth」 の時に有効です。

OFF : PAL ON : SECAM

- NTSC Setup Level (SW3 が OFF の場合)

※ 「107 video standard」 の設定が、「set by DIP swicth」 の時に有効です。

OFF : 0 IRE ON : 7.5 IRE

注意

・ディップスイッチの設定変更は、ADVC-700の電源を切ってから行ってください。

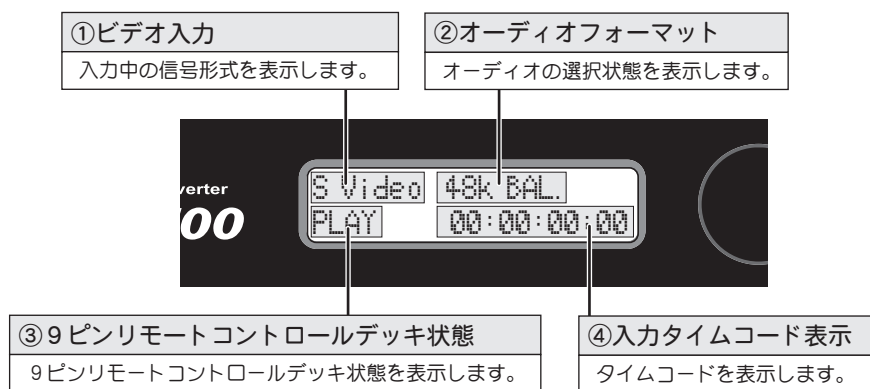
1-4. 液晶画面表示

ADVC-700 には 2 種類のメイン画面と、エラーステータス画面があります。セレクトダイヤルを回して表示画面を切り替えることができます。MENU ボタンを押すと、設定メニュー画面へ移動します。

■メイン画面 1

動作中のステータスを表示しています。

● ANALOG → DV モード



①ビデオ入力

COMPONENT..... コンポーネント端子からの信号を入力しています。
 S VIDEO..... S-Video 端子からの信号を入力しています。
 COMPOSITE..... コンポジット端子からの信号を入力しています。

②オーディオフォーマット

48k BAL..... 入力されたバランスオーディオ信号を 48kHz、16bit のオーディオフォーマットに変換しています。
 48k UNBAL..... 入力されたアンバランスオーディオ信号を 48kHz、16bit のオーディオフォーマットに変換しています。
 32k BAL..... 入力されたバランスオーディオ信号を 32kHz、12bit のオーディオフォーマットに変換しています。
 32k UNBAL..... 入力されたアンバランスオーディオ信号を 32kHz、12bit のオーディオフォーマットに変換しています。

③ 9 ピンリモートコントロールデッキ状態

空欄の場合..... 9 ピンリモートコントロールを使用しません。

NoDevice..... デッキが見つかりません。ケーブルの接続状況を確認してください。

NoCASSETTE..... デッキにテープが挿入されていない状態を検出しました。

STOP..... デッキは停止状態です。

PLAY..... デッキは再生状態です。

STILL..... デッキはポーズ状態です。

F.FWD..... デッキは早送り状態です。

REW..... デッキは巻き戻し状態です。

REC..... デッキは録画状態です。

SHUTTLE..... デッキはトリックプレイ状態です。

④ 入力タイムコード表示

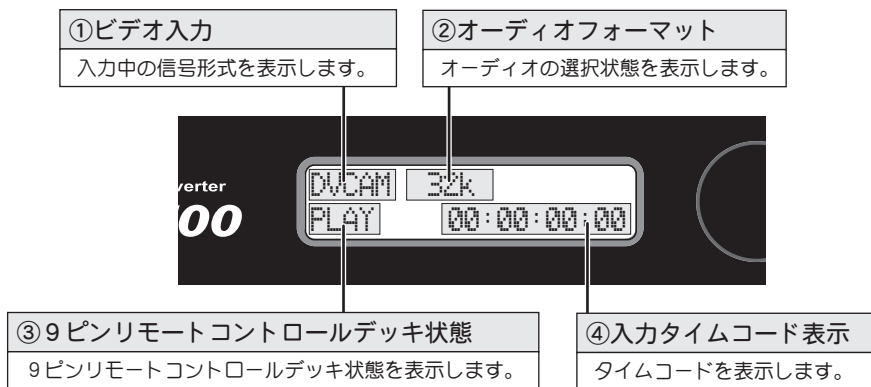
00:00:03:22..... PAL および NTSC ノンドロップフレームの場合（秒とフレームの間の区切りがコロンになります。）

00:00:03;22..... NTSC ドロップフレームの場合（秒とフレームの間の区切りがセミコロンになります。）

--:--:--:--..... DV 出力をしていません。

※タイムコードが入力されていない場合および内蔵カラーバー出力時はフリーランタイムコードとなります。

● DV → ANALOG モード



①ビデオ入力

DVCAM..... DVCAM 信号を入力しています。

DV..... DV 信号を入力しています。

②オーディオフォーマット

- 48k..... 入力されている DV オーディオ信号は 48kHz、16bit フォーマットです。
44k..... 入力されている DV オーディオ信号は 44.1kHz、16bit フォーマットです。
32k..... 入力されている DV オーディオ信号は 32kHz、16bit または 12bit フォーマットです。

③9ピンリモートコントロールデッキ状態

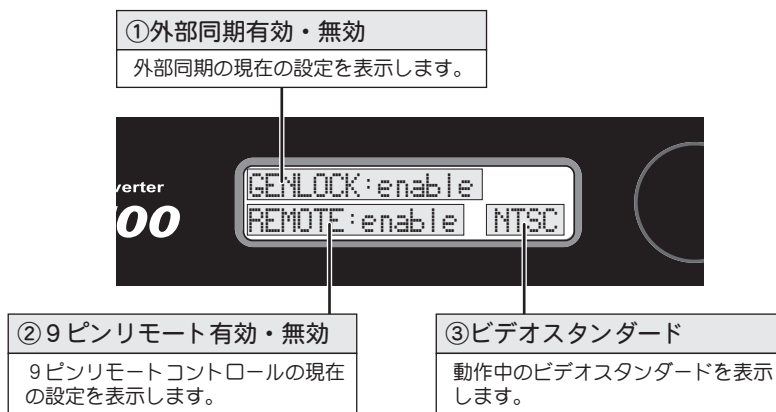
- 空欄の場合..... 9ピンリモートコントロールを使用しません。
NoDevice..... デッキが見つかりません。ケーブルの接続状況を確認してください。
NoCASSETTE..... デッキにテープが挿入されていない状態を検出しました。
STOP..... デッキは停止状態です。
PLAY..... デッキは再生状態です。
STILL..... デッキはポーズ状態です。
F.FWD..... デッキは早送り状態です。
REW..... デッキは巻き戻し状態です。
REC..... デッキは録画状態です。
SHUTTLE..... デッキはトリックプレイ状態です。

④入力タイムコード表示

- 00:00:03:22..... PAL および NTSC ノンドロップフレームの場合（秒とフレームの間の区切りがコロンになります。）
00:00:03;22..... NTSC ドロップフレームの場合（秒とフレームの間の区切りがセミコロンになります。）
--:--:--:--..... DV 信号を検出できません。
※タイムコードが入力されていない場合および内蔵カラーバー出力時はフリーランタイムコードとなります。

■メイン画面 2

現在の設定内容を表示する画面です。



①外部同期有効・無効

disable..... 外部同期機能は無効です。
 enable..... 外部同期機能が有効です。
 advanced..... 「パーフェクトシンクモード」の外部同期機能が有効です。

②9ピンリモート有効・無効

disable..... 9ピンリモートコントロールが無効です。
 enable..... 9ピンリモートコントロールが有効です。

③ビデオスタンダード

NTSC..... NTSCで動作しています。
 PAL..... PALで動作しています。
 SECAM..... SECAMで動作しています。

■エラーステータス画面

○エラーがない場合



○ステータス LED が赤点滅の場合



VIDEOin..... DV エンコードモード時、「001 video input」で選択されたアナログビデオ信号が検知できない場合に表示されます。ただし、「104 DVout auto-mute」が「off」の場合はアナログビデオ信号が無い場合でもエラーになりません。(LED も点滅しない)

※「601 SG output」が「on」の場合は表示されません。

REFin..... DV デコードモード時、「401 ext. sync」が「enable」または「advanced」のとき REF 入力端子から同期信号がロックできない場合に表示されます。

※「601 SG output」が「on」の場合は表示されません。

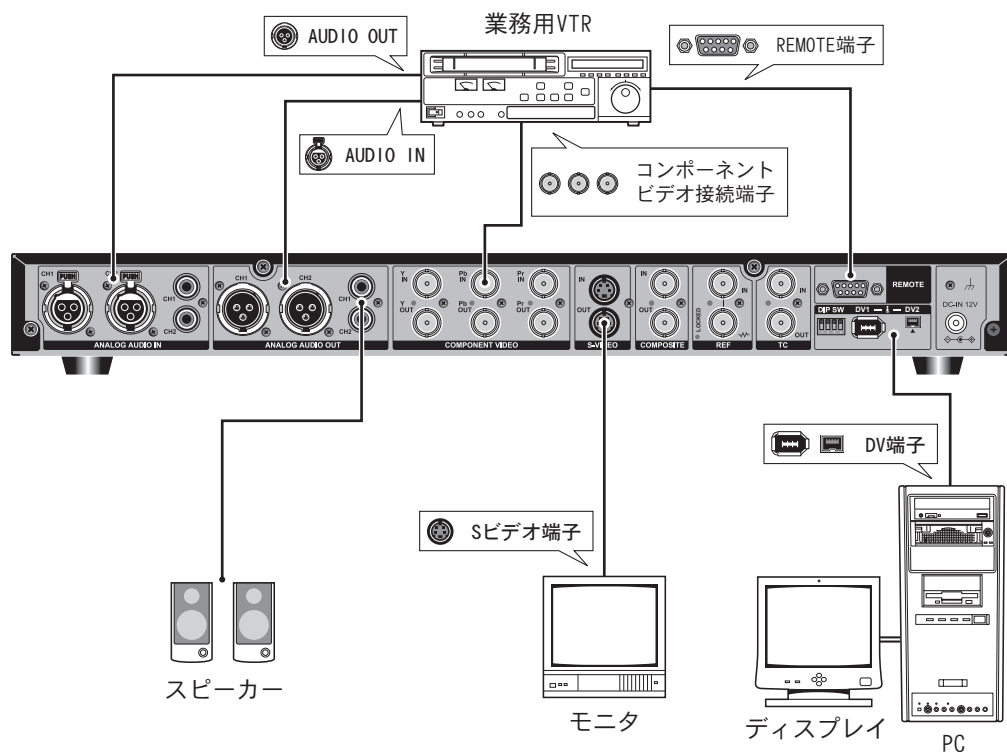
2 接続

2-1. ADVC-700 を接続する

ADVC-700 を接続します。以下の図は、ADVC-700 の一般的な接続例を記載しています。

■ ADVC-700 接続例

●スタンダード（コンポーネント映像端子を持つ VTR と PC の接続例）



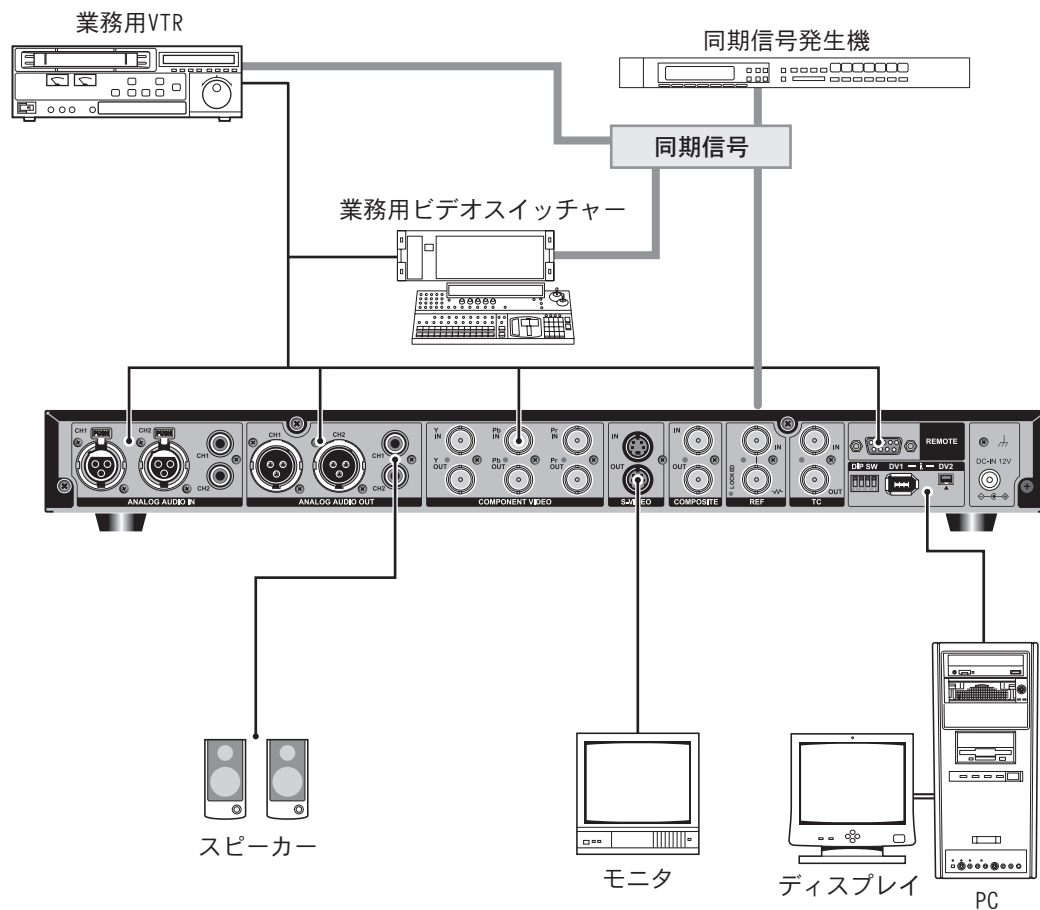
注意

- ・ PCへのデジタルデータ変換やテープへの録画はPCにIEEE1394ポートがあり、DV用の編集ソフトウェアが必要となります。

注意

- ・ ADVC-700とPCを接続する場合は、PCの電源が入っていない状態で行ってください。

●システム



注意

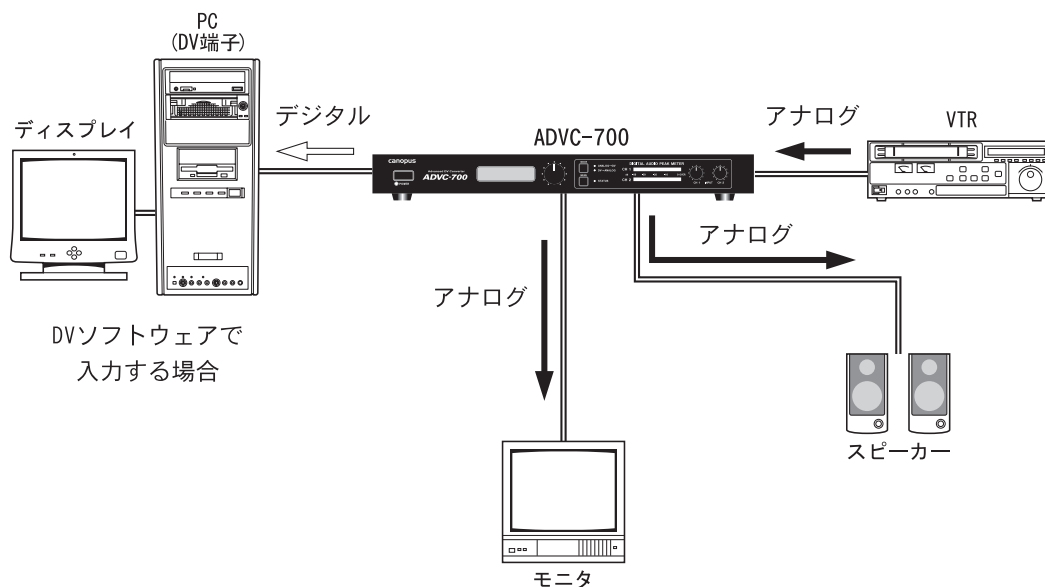
- ・ PCへのデジタルデータ変換やテープへの録画はPCにIEEE1394ポートがあり、DV用の編集ソフトウェアが必要となります。

注意

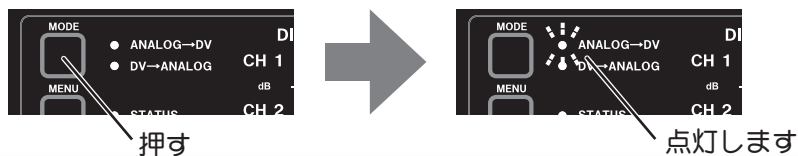
- ・ ADVC-700とPCを接続する場合は、PCの電源が入っていない状態で行ってください。

2-2. アナログデータを PC に取り込む

PC に VTR テープの素材を取り込みます。



- ① ADVC-700フロントパネルの[MODE]スイッチを押して[ANALOG→DV]に切り替えてください。

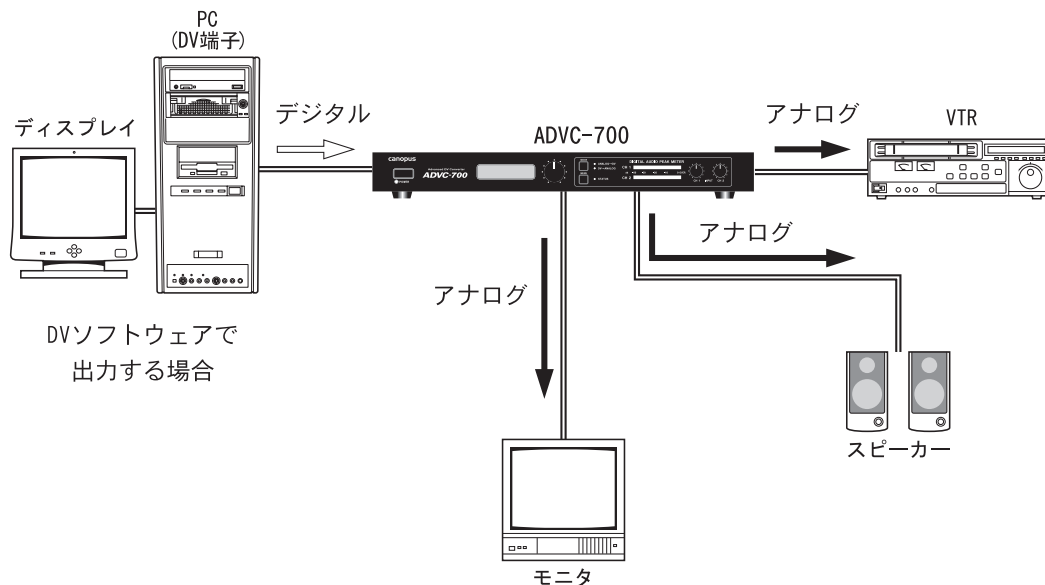


- ② DV編集ソフトウェアを使用してキャプチャしてください。

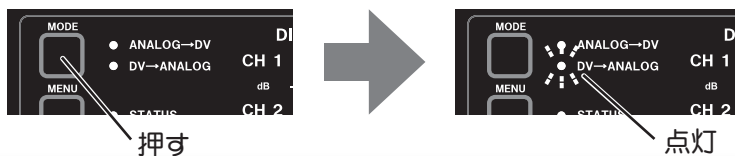
※DV編集ソフトウェアの操作方法については、ご使用のDV編集ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

2-3. PCで編集したものをVTRに録画する

PCのDVデータをVTRに録画します。



- ① ADVC-700フロントパネルの[MODE]スイッチを押して[DV→ANALOG]に切り替えてください。



- ② DV編集ソフトウェアを使用してデータを出力してください。

※DV編集ソフトウェアの操作方法については、ご使用のDV編集ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

- ③ VTRでテープに録画を行ってください。

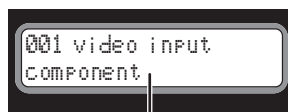
3 操作

3-1. メニュー画面操作

- ① メイン画面のいずれかでセレクトダイヤルを押すか、または[MENU]スイッチを押します。



押す



液晶画面に設定メニューが表示されます。

- ② セレクトダイヤルを回して、設定するメニュー項目を選択します。



回す

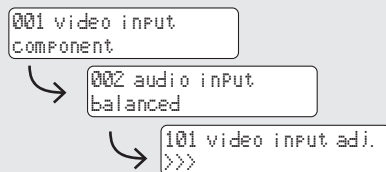


メニュー項目を選択

セレクトダイヤルを時計回りに回転すると設定項目を昇順に移動します。



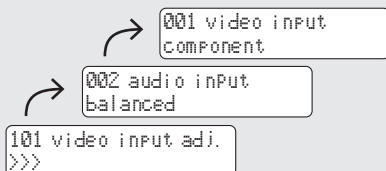
回す



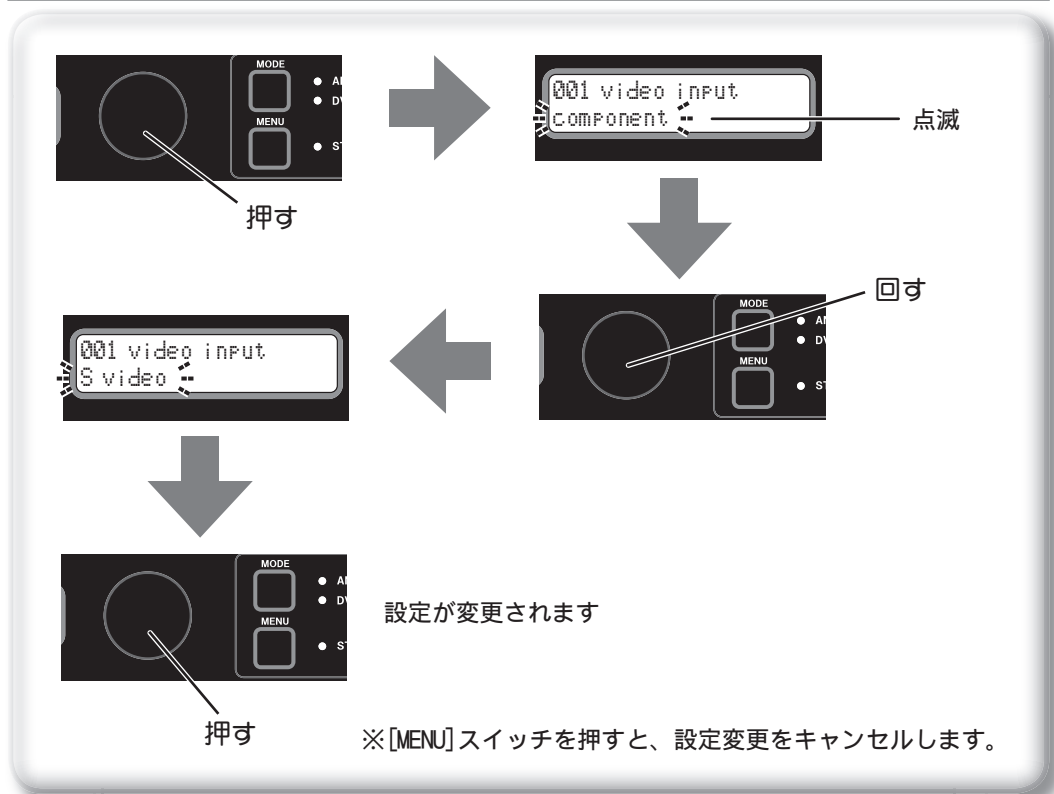
セレクトダイヤルを反時計回りに回転すると設定項目を降順に移動します。



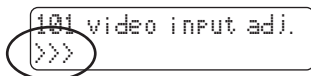
回す



- ③ セレクトダイヤルを押してメニュー項目を選択した状態にしたあと、セレクトダイヤルを回して設定を変更します。サブメニューが設定されている項目では、メニュー項目が表示された状態でセレクトダイヤルを押して、サブメニュー画面に切り替えて設定を変更します。



メニュー項目で>>>マークのあるところは、サブメニューが設定されている項目です。



- ④ 設定変更後は[MENU]スイッチでメイン画面に戻ります。

3-2. 設定グループ

000 番台 入力選択関連

アナログビデオ入力の選択-----	001 video input-----	28
アナログオーディオ入力の選択-----	002 audio input -----	28

100 番台 Video 入出力関連

ビデオ入力詳細設定-----	101 video input adj.-----	29
ビデオ出力詳細設定-----	102 video output adj ----	32
ビデオ出力の自動ミュート設定-----	103 Vout auto-off-----	32
DV 出力の自動ミュート設定-----	104 DVout auto-mute----	33
DV 出力のアスペクト比情報設定-----	105 DV aspect info -----	33
S ビデオ出力のアスペクト比情報設定-----	106 Sout aspect info-----	34
ビデオスタンダード設定-----	107 video standard -----	34
フレームシンクロナイザ設定-----	108 DVout frame sync ---	35

200 番台 Audio 入出力関連

DV オーディオフォーマット-----	201 DV audio encode-----	35
バランスオーディオヘッドルーム（リファレンスレベル）-----	202 audio headroom-----	36
バランスオーディオ入出力レベル-----	203 audio level -----	37

400 番台 外部同期関連

外部同期設定-----	401 ext. sync-----	38
外部同期詳細設定-----	402 ext. sync conf. -----	38
オーディオ出力遅延設定-----	403 audio out delay-----	39

500 番台 9 ピンリモート制御関連

リモート制御設定-----	501 9P remote-----	39
---------------	--------------------	----

600 番台 基準信号出力関連

カラーバー出力-----	601 SG output -----	39
カラーバー音声レベル-----	602 SG audio level -----	40

700 番台 その他詳細設定

IEEE1394 クロック補正 -----	701 1394 clock adj. -----	40
ローカル操作禁止-----	702 local disable -----	41
サイクルマスタ取得許可設定-----	703 cycle master -----	41
リサンプリングフィルタ設定-----	704 resample filter -----	42
AV/C トランザクション設定 -----	705 AV/C transaction ----	42
最大データ速度設定-----	706 data rate cap. -----	43

900 番台 システム関連

設定の保存-----	901 save settings -----	43
設定の復元（工場出荷時設定へのリセット）-----	902 restore settings ----	44
システムバージョンの表示-----	903 system version -----	45

001 video input

ANALOG → DV (DV エンコード) 時に選択されるビデオ入力システムを設定します。

アナログビデオ入力の選択

液 晶 表 示	
001 video input component	コンポーネント端子からの信号を入力します。 (工場出荷時設定)
001 video input S video	S-Video 端子からの信号を入力します。
001 video input composite	コンポジット端子からの信号を入力します。

002 audio input

ANALOG → DV (DV エンコード) 時に選択されるオーディオ入力システムを設定します。

アナログオーディオ入力の選択

液 晶 表 示	
002 audio input balanced	バランスオーディオ端子からの信号を入力します。 (工場出荷時設定)
002 audio input unbalanced	アンバランスオーディオ端子からの信号を入力します。

101 video input adj.

ビデオ入力系統ごとに画質に関する設定をします。

ビデオ入力詳細設定

※ビデオスタンダードの設定やビデオ入力の設定によっては設定できない項目があります。その場合、設定できない項目はメニューとして表示されません。

液晶表示	
101 video input adj. >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
brightness 512	輝度を調整します。 0 ～ 1023 の範囲の数値を設定できます。(工場出荷時設定：512)
contrast 128	コントラストを調整します。 0 ～ 255 の範囲の数値を設定できます。(工場出荷時設定：128)
hue 128	色相を調整します。 0 ～ 255 の範囲での数値で設定できます。(工場出荷時設定：128) 黄色の場合、値を大きくすると緑が強くなり、小さくすると赤が強くなります。
saturation 128	彩度を調整します。 0 ～ 255 の範囲の数値を設定できます。 (工場出荷時設定：composite/S video の場合) NTSC 0IRE：128 7.5IRE：138 PAL：128 SECAM：128 (工場出荷時設定：component の場合) NTSC Betacam 0IRE：148 7.5IRE：160 PAL：213 SECAM：213
sharpness 128	シャープネスを調整します。 0 ～ 255 の範囲の数値を設定できます。(工場出荷時設定：128)
component level Betacam	コンポーネントレベルを設定します。(NTSC/component のみ) Betacam Betacam に設定します。(工場出荷時設定) SMPTE SMPTE に設定します。





3D visual processing none	3次元ノイズリダクション、および3次元ビデオプロセッシングの効果を設定します。(NTSCのみ)
none	3次元処理を行いません。(工場出荷時設定)
3D Y/C	3D Y/C を使用します。(compositeのみ)
3D NR(low)	弱い3次元ノイズ抽出フィルタを使用します。(composite/S videoのみ)
3D NR(middle)	標準の3次元ノイズ抽出フィルタを使用します。(composite/S videoのみ)
3D NR(high)	強い3次元ノイズ抽出フィルタを使用します。(comopsite/S videoのみ)
2D luma NR none	非線形ノイズ抽出フィルタにより輝度成分のノイズ除去をします。
none	輝度成分のノイズ除去を行いません。(工場出荷時設定)
low	弱い2次元ノイズ抽出フィルタを使用します。
middle	標準の2次元ノイズ抽出フィルタを使用します。
high	強い2次元ノイズ抽出フィルタを使用します。
2D chroma NR none	非線形ノイズ抽出フィルタにより色成分のノイズを除去します。
none	色成分のノイズ除去を行いません。(工場出荷時設定)
low	弱い2次元ノイズ抽出フィルタを使用します。
middle	標準の2次元ノイズ抽出フィルタを使用します。
high	強い2次元ノイズ抽出フィルタを使用します。
black gain none	輝度信号に対し、低輝度部分のゲイン（黒ゲイン）を強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。 [none] に設定した場合は、「B adaptation level」「black threshold」の項目は無効になります。
none	使用しません。(工場出荷時設定)
low	弱い黒ゲインフィルタを使用します。
middle	標準の黒ゲインフィルタを使用します。
high	強い黒ゲインフィルタを使用します。
B adaptation level level 1	黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。
level 1	(工場出荷時設定)
level 2 ~ 4	
black threshold 0	どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。数値を大きくするほど明るいレベルに設定されます。 0 ~ 255 の範囲の数値を設定できます。(工場出荷時設定 : 0)





white gain none	輝度信号に対し、高輝度部分のゲイン（白ゲイン）を弱めます。 コントラストを保持したまま白飛びを防ぎます。 [none] に設定した場合は、「W adaptation level」「white threshold」の項目は無効になります。
	none low middle high 使用しません。（工場出荷時設定） 弱い白ゲインフィルタを使用します。 標準の白ゲインフィルタを使用します。 強い白ゲインフィルタを使用します。
W adaptation level level 1	白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。
	level 1 level 2 ~ 4 (工場出荷時設定)
white threshold 255	どのレベル輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。 数値を大きくするほど暗いレベルに設定されます。 0 ~ 255 の範囲の数値を設定できます。（工場出荷時設定：255）
H outline enhance none	水平方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
	none low middle high 輪郭補正を行いません。（工場出荷時設定） 弱い輪郭補正を行います。 標準の輪郭補正を行います。 強い輪郭補正を行います。
V outline enhance none	垂直方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
	none low middle high 輪郭補正を行いません。（工場出荷時設定） 弱い輪郭補正を行います。 標準の輪郭補正を行います。 強い輪郭補正を行います。

102 video output adj

ビデオ出力について詳細設定を行います。

ビデオ出力詳細設定

液晶表示	
102 video output adj >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
component level Betacam	コンポーネントレベルを設定します。(NTSCのみ) Betacam コンポーネントレベルを Betacam に設定します。 (工場出荷時設定) SMPTE コンポーネントレベルを SMPTE に設定します。
composite/S gain 0	composite/S ゲインを調整します。 -32 ~ 32 の範囲の数値を設定できます。(工場出荷時設定 : 0)
component gain 0	component ゲインを調整します。 -32 ~ 32 の範囲の数値を設定できます。(工場出荷時設定 : 0)

103 Vout auto-off

ANALOG → DV (DV エンコード) 時にビデオ出力を自動的に停止する出力系統を設定します。
リファレンス信号を利用しない場合等に接続機器とのループ接続を回避できます。

ビデオ出力の自動ミュート設定

液晶表示	
103 Vout auto-off >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
composite output	コンポジット端子からのビデオ出力の設定を行います。 output ビデオ信号を出力します。(工場出荷時設定) auto-off ビデオ信号の出力を自動的に停止します。
S video output	S-video 端子からのビデオ出力の設定を行います。 output ビデオ信号を出力します。(工場出荷時設定) auto-off ビデオ信号の出力を自動的に停止します。
component output	コンポーネント端子からのビデオ出力の設定を行います。 output ビデオ信号を出力します。(工場出荷時設定) auto-off ビデオ信号の出力を自動的に停止します。

104 DVout auto-mute

ANALOG → DV (DV エンコード) 時に DV ストリームを自動的に停止する条件を選択します。

DV 出力の自動ミュート設定

液 晶 表 示	
104 DVout auto-mute off	DV 出力を停止しません。
104 DVout auto-mute no video signal	ビデオ入力未入力の場合、DV 出力を停止します。 (工場出荷時設定)

105 DV aspect info

ANALOG → DV (DV エンコード) 時に出力する DV ストリームのアスペクト比情報を選択します。

DV 出力のアスペクト比情報設定

液 晶 表 示	
(NTSC の場合)	
105 DV aspect info 4:3	アスペクト比を 4:3 に設定します。 (工場出荷時設定)
105 DV aspect info 16:9(letter box)	アスペクト比を 16:9 (letter box) に設定します。
105 DV aspect info 16:9(squeeze)	アスペクト比を 16:9 (squeeze) に設定します。
(PAL/SECAM の場合)	
105 DV aspect info 4:3	アスペクト比を 4:3 に設定します。 (工場出荷時設定)
105 DV aspect info 16:9(letter box)	アスペクト比を 16:9 (letter box) に設定します。
105 DV aspect info 16:9(anamorphic)	アスペクト比を 16:9 (anamorphic) に設定します。

106 Sout aspect info

S ビデオ出力端子に設定されるアスペクト比情報を選択します。

S ビデオ出力のアスペクト比情報設定

液 晶 表 示	
106 Sout aspect info 4:3	アスペクト比を 4:3 に設定します。 (工場出荷時設定)
106 Sout aspect info 16:9(letter box)	アスペクト比を 16:9 (letter box) に設定します。
106 Sout aspect info 16:9	アスペクト比を 16:9 に設定します。

107 video standard

ビデオスタンダード設定を選択します。
設定変更後は、電源を切断するように促すメッセージが表示されます。

ビデオスタンダード設定

液 晶 表 示	
107 video standard >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
video standard NTSC(525)/0IRE	ビデオスタンダードを設定します。 NTSC(525)/0IRE NTSC、セットアップレベルを 0IRE に設定します。
	NTSC(525)/7.5IRE NTSC、セットアップレベルを 7.5IRE に設定します。
	PAL(625) PAL に設定します。
	SECAM(625) SECAM に設定します。
	set by DIP switch 本体背面ディップスイッチの設定に依存します。 (工場出荷時設定)

108 DVout frame sync

フレームシンクロナイズ設定

ANALOG → DV (DV エンコード) 時にエンコードするビデオにフレームシンクロナイズを適用するかどうかの選択を行います。

液 晶 表 示	
108 DVout frame sync disable	無効にします。 (工場出荷時設定)
108 DVout frame sync enable	有効に設定します。

※出力されるアナログビデオはこの設定にかかわらずフレームシンクロナイズを適用した映像になります。

※「501 9P remote」がenableに設定されている場合は、設定が無効になります。

201 DV audio encode

DV オーディオフォーマット

ANALOG → DV (DV エンコード) 時の DV オーディオフォーマットを選択します。

液 晶 表 示	
201 DV audio encode 48kHz/16bit	48kHz、16bit に設定します。 (工場出荷時設定)
201 DV audio encode 32kHz/12bit	32kHz、12bit に設定します。

202 audio headroom

バランスオーディオヘッドルーム
(リファレンスレベル)

バランスオーディオ (XLR) 端子の入出力ヘッドルームを選択します。

液 晶 表 示		セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。	
サブメニュー			
202 audio headroom >>>			
in headroom ch 1 16dB		CH 1 の入力ヘッドルームを設定します。	
		16 dB	16 dB に設定します。
		18 dB	18 dB に設定します。(PAL/SECAM 工場出荷時設定)
		20 dB	20 dB に設定します。(NTSC 工場出荷時設定)
in headroom ch 2 16dB		CH 2 入力ヘッドルームを設定します。	
		16 dB	16 dB に設定します。
		18 dB	18 dB に設定します。(PAL/SECAM 工場出荷時設定)
		20 dB	20 dB に設定します。(NTSC 工場出荷時設定)
out headroom ch 1 16dB		CH 1 の出力ヘッドルームを設定します。	
		16 dB	16 dB に設定します。
		18 dB	18 dB に設定します。(PAL/SECAM 工場出荷時設定)
		20 dB	20 dB に設定します。(NTSC 工場出荷時設定)
out headroom ch 2 16dB		CH 2 の出力ヘッドルームを設定します。	
		16 dB	16 dB に設定します。
		18 dB	18 dB に設定します。(PAL/SECAM 工場出荷時設定)
		20 dB	20 dB に設定します。(NTSC 工場出荷時設定)

203 audio level

バランスオーディオ (XLR) 端子の入出力レベルを選択します。

バランスオーディオ入出力レベル

液晶表示	
203 audio level >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
inPut level ch 1 +4 dBm	バランスオーディオ CH 1 の入力レベルを選択します。 +4 dBm +4 dBm に設定します。(工場出荷時設定) 0 dBm 0 dBm に設定します。
inPut level ch 2 +4 dBm	バランスオーディオ CH 2 の入力レベルを選択します。 +4 dBm +4 dBm に設定します。(工場出荷時設定) 0 dBm 0 dBm に設定します。
outPut level ch 1 +4 dBm	バランスオーディオ CH 1 の出力レベルを選択します。 +4 dBm +4 dBm に設定します。(工場出荷時設定) 0 dBm 0 dBm に設定します。
outPut level ch 2 +4 dBm	バランスオーディオ CH 2 の出力レベルを選択します。 +4 dBm +4 dBm に設定します。(工場出荷時設定) 0 dBm 0 dBm に設定します。

401 ext. sync

DV → ANALOG (DV デコード) 時の外部同期の有効・無効を選択します。

外部同期設定

液 晶 表 示	
401 ext. sync disable	外部同期を使用しません。 (工場出荷時設定)
401 ext. sync enable	外部同期を使用します。
401 ext. sync advanced	外部同期動作を「パーフェクトシンクモード」として使用します。

※ DV → ANALOG モード (DV デコード) 時のみ有効です。

※ advanced の設定は PC の 1394OHCI 準拠 IEEE1394 ポートから DV 出力される場合のみ機能します。PC の対応 OS については、当社ホームページ等でご確認ください。

402 ext. sync conf.

外部同期動作する場合、外部同期入力に対するビデオ出力の遅延量 (システム位相) を 37 ナノ秒単位で増減する設定を行います。

外部同期詳細設定

液 晶 表 示	
402 ext. sync conf. 0	-1024 ~ 1023 の範囲の数値を設定できます。 (工場出荷時設定 : 0)

403 audio out delay

オーディオ出力遅延設定

外部同期動作する場合、ビデオ出力に対するオーディオ出力の遅延量をミリ秒単位で増減する設定を行います。

液 晶 表 示	
403 audio out delay 0 msec	-100 ~ 100 msec の範囲の数値を設定できます。 (工場出荷時設定 : 0 msec)

501 9P remote

リモート制御設定

リモート端子によるデッキ制御を選択します。

液 晶 表 示	
501 9P remote disable	リモート端子によるデッキ制御を使用しません。 (工場出荷時設定)
501 9P remote enable	リモート端子によるデッキ制御を使用します。

601 SG output

カラーバー出力

カラーバー出力の動作を選択します。

液 晶 表 示	
601 SG outPut off	カラーバーを出力しません。 (工場出荷時設定)
601 SG outPut on	カラーバーを出力します。

※外部同期機能は使用できません。

※フリーランタイムコードが出力されます。

602 SG audio level

カラーバー出力時の 1kHz テスト音声のレベルを選択します。

カラーバー音声レベル

液 晶 表 示	
602 SG audio level -18 dB FS	-18 dB FS に設定します。(PAL/SECAM 工場出荷時設定)
602 SG audio level -20 dB FS	-20 dB FS に設定します。(NTSC 工場出荷時設定)

701 1394 clock adj.

IEEE1394 システムクロックを設定します。

IEEE1394 クロック補正

液 晶 表 示	
701 1394 clock adj. 127	通常は工場出荷時設定 (127) でご使用ください。 (工場出荷時設定 : 127)

702 local disable

MODE スイッチの操作の有効・無効を選択します。

ローカル操作禁止

液 晶 表 示	
702 local disable off	MODE スイッチの操作を許可します。 (工場出荷時設定)
702 local disable on	MODE スイッチの操作を禁止します。
702 local disable auto	リモート端子によるデッキ制御が有効である場合の MODE スイッチの操作を禁止します。
702 local disable off (PB mode)	MODE スイッチの操作を許可し、AV/C コマンドによる動作モード切替を禁止します。

703 cycle master

サイクルマスタ取得許可設定

当製品への IEEE1394 サイクルマスタ取得を許可する設定を選択します。
ADVC-700/ADVC-1000 と対向接続する場合は、off に設定してください。

液 晶 表 示	
703 cycle master off	サイクルマスタを取得しません。
703 cycle master on	サイクルマスタを取得します。 (工場出荷時設定)

※ off に設定した場合、「パーフェクトシンクモード」の外部同期が機能しません。

704 resample filter

リサンプリングフィルタ設定

NTSC モード時、Cb/Cr 信号の水平リサンプリングフィルタ特性を変更します。
(NTSC 時のみ)

液 晶 表 示	
704 resample filter normal	標準係数を設定します。 (工場出荷時設定)
704 resample filter sharp 1	エイリアス除去を重視した係数を設定します。
704 resample filter sharp 2	周波数特性を重視した係数を設定します。

705 AV/C transaction

AV/C トランザクション設定

AV/C コマンド受信時に当製品が応答する AV/C トランザクション形式を選択します。

液 晶 表 示	
705 AV/C transaction immediate	AV/C コマンド受信直後にトランザクションを行います。 (工場出荷時設定)
705 AV/C transaction deferred	AV/C コマンド受信後、すぐにトランザクションを行いません。

706 data rate cap.

最大データ速度設定

iMPR/oMPR の "dr cap" フィールドの内容を設定します。

設定変更後は、電源を切断するように促すメッセージが表示されます。

液晶表示	
706 data rate cap. S100	S100 に設定します。 (工場出荷時設定)
706 data rate cap. S200	S200 に設定します。
706 data rate cap. S400	S400 に設定します。

901 save settings

設定の保存

各設定をユーザーエリアに保存します。

液晶表示	
901 save settings >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
user 1	現在の設定内容を user 1 に保存します。
user 2	現在の設定内容を user 2 に保存します。
user 3	現在の設定内容を user 3 に保存します。

902 restore settings

設定の復元
(工場出荷時設定へのリセット)

各設定をユーザーエリアまたは工場出荷時から復元します。
復元する際に、必要がある場合には電源を切断するように促すメッセージが表示されます。

液 晶 表 示	
902 restore settings >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
user 1	各設定を user 1 の設定に戻します。
user 2	各設定を user 2 の設定に戻します。
user 3	各設定を user 3 の設定に戻します。
factory default	各設定を工場出荷時設定に戻します。

903 system version

システムバージョンの表示

ファームウェアなどのバージョン番号を表示するサブメニューを持ちます。

液晶表示	
903 system version >>>	セレクトダイヤルを押すとサブメニュー画面が表示されます。 サブメニュー画面で、セレクトダイヤルを回すとサブメニュー項目が順に切り替わります。
サブメニュー	
uCOM	uCOM のバージョンを表示します。
FPGA	FPGA のバージョンを表示します。
CPLD 1	CPLD 1 のバージョンを表示します。
CPLD 2	CPLD 2 のバージョンを表示します。
unit ID	unit ID を表示します。

Advanced DV Converter
ADVC-700

第 3 章

付 録

1 仕様

ビデオ信号方式		NTSC/PAL ※入力のみ SECAM 対応。その際の出力は PAL になります。
デジタルビデオ	形式	DV/DVCAM
	入出力端子	IEEE1394 4 ピン x 1 IEEE1394 6 ピン x 1
	ビデオサイズ	720x480 ピクセル (NTSC), 720x576 ピクセル (PAL)
デジタルオーディオ	サンプリングレート	32kHz 12bit 2ch ※データフォーマットは 4ch ですが、入力できるのはメインの 2ch のみで、サブの 2ch には無音が入ります。
		48kHz 16bit 2ch
アナログビデオ	入力端子	BNC (コンポジット) x 1
		S 端子 x 1
		BNC (コンポーネント 1 系統)
	出力端子	BNC (コンポジット) x 1
		S 端子 x 1
		BNC (コンポーネント 1 系統)
アナログオーディオ	入力 (バランス)	XLR-3-31 x 2 ※入カインピーダンス 600 Ω
	入力 (アンバランス)	ピンジャック (ステレオ 1 系統)
	出力 (バランス)	XLR-3-32 x 2 ※ 600 Ω 負荷に対応
	出力 (アンバランス)	ピンジャック (ステレオ 1 系統)
TC 入出力	LTC 入力	BNC x 1
	LTC 出力	BNC x 1
REF IN	B. B. 入力	BNC x 2 (入力及びループスルー、75 Ω の自動 ON/OFF) ※ DV → アナログ変換時に REF 同期でアナログビデオ出力が可能です。
REMOTE		D-Sub9 ピン (メス) x 1 (RS422A)
		AV/C → RS422A コマンド変換機能
電源		外部電源ジャック DC12V, 2A
消費電力		+12V 1.7A
動作温度		10°C ~ 35°C
動作湿度		40% ~ 80% (結露のないこと)
保存温度		-20°C ~ 60°C
保存湿度		20% ~ 80% (結露のないこと)
外形サイズ (突起物を含まず)		430mm (W) x 44mm (H) x 245mm (D) EIA 規格準拠 19 インチラックマウント可能
質量		約 2.9kg (ゴム足付き。AC アダプタ、ラックマウント取り付け用ブラケットを除く)

